

最後の大運動会

(第26回)



- ①ペアがボールを同時に投げ合う競技「ナイスキャッチ」
- ②2ℓのボトルに水を注ぐ競技「こぼさず、はこんでね」
- ③健脚が競われた各種団体によるリレー
- ④全校児童、PTAによる踊り「スマイル音頭」

⑤選手宣誓をする6年の梅川翔平君と島田梨於那さん



⑥保護者も参加して盛り上げた紅白の応援合戦



平成25年4月に、獅子島の幣串小学校と統合し、移転する獅子島小学校（日高好治校長）の閉校記念秋季大運動会が、9月23日に開催されました。

この日は、全校児童12人と保護者、地域の住民らが総出で参加したほか、以前獅子島小学校に勤務していた教職員7人も駆けつけ、最後の運動会を楽しみました。

こや大玉転がし、紅白対抗リレーなどが行われ、応援に駆けつけた家族らからたくさん声援が送られました。このほか、高齢者による宝拾いや地域住民が参加する一升瓶転がし、各地区婦人会対抗の綱引きなどの種目も設けられ、大いに盛り上がりました。

響き渡りました。午前中最後は、閉校記念として餅まきがあり、児童や幼児が歓声を上げながら餅に飛び付いていました。6年の梅川翔平君は「最後の赤組団長として、みんなと力を合わせ頑張れた」。同年の島田梨於那さんは「大好きな獅子島小学校の最後の運動会と考えると悲しい気持ちになったが、力を合わせ盛り上げることができた」と最後の

運動会の思い出を話しました。

獅子島小学校は、昭和62年4月に片側小学校と御所浦小学校が統合。当時は児童数59人でスタートしましたが、少子化の影響で平成25年3月で26年間の幕を閉じるようになります。

新たな獅子島小学校は、片側集落の獅子島中学校内に併設されることとなります。

⑦チームワークのダンス「ワイルドアットハート」の演技

